



CHROMALIGHT DISPLAY

OPTIMAL AND LONG-LASTING LEGIBILITY

クロマライト ディスプレイは、暗闇での視認性を高める革新的な発光素材を使用しています。青い光を放つこの物質は、オイスターコレクションのプロフェッショナルウォッチと多くのクラシックウォッチの針、アワーマーカーやその他の表示に採用されており、長時間継続の優れた視認性を提供します。



CHROMALIGHT DISPLAY

暗闇で、洞窟の奥深くで、または視界の悪い水中で、ロレックス ウォッチの着用者は容易に、そして確信を持って時間を読み取ることができなければなりません。そのため、ロレックスは暗い環境においても多くの時計の視認性が保てるよう、特別な発光素材を使用しています。

HIGH-PERFORMANCE LUMINESCENCE

ロレックスは 2008 年、暗闇に時計が入ると針、アワーマーカーとその他の表示が青く光る、革新的なクロマライト ディスプレイを発表しました。

異なる部品をコーティングまたは塗布するのに用いられる発光素材はロレックス独自のもので、時計製造業界の基準をはるかに上回る明るさで、長時間継続します。クロマライト ディスプレイの発光時間は従来の約 2 倍長く持続します。また、8 時間以上に及ぶこともある発光時間でも、安定した光を放ちます。

MANUFACTURING PROCESS

発光素材の原料はアルミニウム、ストロンチウム、ジスプロシウム、ユウロピウムを含む微細な金属酸化物のパウダーで、複雑で繊細な製造過程を経てつくられます。この物質をクロマライト ディスプレイの特徴的な青い光を放つようにするためには、完璧にコントロールされた高温の反応が必要となります。この反応により生じる結晶の原子構造によって、青い光を放つことができます。この物質にはリン光性があり、光のエネルギーを蓄えて、暗くなるとゆっくりと放出することができます。発光には物質内部での電荷移動が関わっています。最終工程で、リン光粉末が液体樹脂と混ぜられ、部品に手作業で塗布されます。この工程には、正確な量の材料を使用し、ロレックスの厳しい品質基準を満たす完璧な仕上がりを実現するために、多大な厳密さと緻密さが必要とされます。

2008 年に発表されたロレックス ディープシーに採用されたルミネッセンス クロマライト ディスプレイは今日、プロフェッショナルウォッチと、2015 年からはオイスターコレクションの多くのクラシックウォッチにも採用されています。